

第2号様式

日本フルハーフ株式会社 殿



自相模第 97 号
平成20年 7月 4日
自動車検査独立行政法人
関東検査部 相模事務所



改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

- 【指示事項】 1.本改造は車台番号 DPPFH341A-20302~20303 の2台限りとする事。
2.けん引車は 日野 BDG-SHIEDXG (第5輪 9.5ト)
日野 KL-SH1KDGG (第6輪 9.5ト)
日野 KL-SH4FDGG (第5輪 9.5ト)
日野 KS-SH1EDIG (第5輪 9.5ト)
三菱 KL-FP64JDR (第5輪 9.5ト)
ニッサンゲイゼル KC-CK651BFT (第5輪 9.5ト)で検討した。

主要諸元比較表

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車名	フルハーフ	フルハーフ		乗車定員人	—	—	—	
型式	DPPFH341A	DPPFH341A改		最大積載量 kg	28800	20400	—	
自動車の種別	普通	普通		前軸積載	11155	8575	≦10	
用途	貨物	貨物		後軸積載	8265	6480	≦10	
車体の形状	セミトレー	セミトレー		後中積載	8260	6460	≦14	
燃料の種類	—	—		後後積載	8260	6465	≦10	
原動機型式	—	—		計	36940	27950	—	
総排気量 L	—	—		最大安定	前 47	後 46	—R65°	
長さ m	12.780	12.925	≦12m	傾斜安定	左 47	右 46	≦12m	
幅 m	2.490	2.495	≦2.5m	前軸径	—	—	—	
高さ m	3.765	4.476	≦3.8m	クイ	11R22.5-14	385/65R22.5 160J	—	
軸距 m	7.000+1.360+1.360 = 9.720	7.000+1.360+1.360 = 9.720	—	タイヤ	後中軸	11R22.5-14	385/65R22.5 160J	
荷重 m	前	—	—	後後軸	11R22.5-14	385/65R22.5 160J	—	
	後	1.820	2.040	前軸径	—	—	—	
車内又は荷台の内径の寸法	長さ m	12.605	12.790	イヤ径	後後軸	82.6	71.8	—
	幅 m	2.470	2.085	割合	後中軸	82.6	71.8	—
	高さ m	—	—	%	後後軸	82.6	71.7	—
車両重量 kg	前軸積載	1720	1930	後車軸積載割合	—	—	≧18.20%	
	後前積載	1810	1910	リア・オーバハング	2.180	2.270	≦1/2	
	後中積載	1810	1910	m	—	—	17/20.3/SL	
	後後積載	1800	1900	荷台オフセット	2.765	2.765	—	
	計	7140	7550	最小回転半径 m	—	10.2	≦12m	

能力強度等検討書

制動能力	踏力	N	km/h	m	車輪強度				
					σB/σ	/	=		
空気	No/N	/	m	—	車輪強度	σB/σ	/	=	>1.8
					車輪強度	σB/σ	/	=	>1.8
					駆動軸強度	σB/σ	/	=	>1.5
踏力	No/N	/	m	—	駆動軸強度	σB/σ	/	=	>1.8
					制動軸強度	σB/σ	/	=	>1.6
					駆動軸強度	σB/σ	/	=	>1.8

注1. 能力検討は、改造しないものは、省略したものを×を記入すること。
注2. ()内の数字は、運転時中心より車両後端までの長さを示す。
注3. 1は いすゞ KL-EXD2183 2は 日野 BDG-SHIEDXG 3は 日野 BDG-SHIEDXG 4は 日野 BDG-SHIEDXG

改造等の概要

目的	車両性能化のため車輪を変更し、クイヤを後輪より車輪に変更する。
水陸及び車体	
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	アクスルをダブルクイヤ用(8穴)からシングルクイヤ用(10穴)に変更する。 車輪を、150mm(幅)×150mm(高さ)×10mm(厚)の箱型より 前面127mm(径)×16.5mm(厚)の円筒形に変更する。 (フルハーフKFKGG340型 12自動車777号新型自動車第18215号と同一径)
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線で記入すること。

Y366 77

初年度資料